

Newsletter

No.12 (2003.11.13 発行)

JAICOWS 会長挨拶

島田 淳子

(日本学術会議第 16, 17 期第六部会員, 昭和女子大学副学長)

日本学術会議第 19 期がはじまりました。第 18 期には 7 名であった女性会員は 7 名から 13 名に増加し、学術会議が発足してから初めて 2 桁に達しました。この変化には、3 年間積極的に活動を推進してきた「ジェンダー問題の多角的検討特別委員会」の活動が大きく貢献していると思います。特別委員会の活動を支えてきた JAICOWS としても、この成果を喜ばずにはいられません。これを機に、学界における男女共同参画をさらに本格的に推し進める必要があると思います。

つきましては、JAICOWS も役員などを新しくして対応したいと考えています。12 月 13 日開催の臨時総会には、原ひろ子 JAICOWS 副会長の講演をセット致しましたので、ぜひお集まりください。

公開講演会「ジェンダー問題と日本の学術」開催される

2003 年 5 月 17 日 (土) 13:30~16:30 から、学術総合センター会議室で、第 18 期日本学術会議ジェンダー問題の多角的検討特別委員会 (以下ジェンダー特委) 主催の「ジェンダー問題と日本の学術」が開催されました。女性研究者の問題、学術研究とジェンダー視点、男女共同参画社会の確立にかかわる諸問題、など、多くの問題を取り上げて検討をすすめてきたジェンダー特委の活動をとりまとめて紹介する講演会でした。

原ひろ子 (日本学術会議第 1 部副部長 ジェンダー特委幹事 放送大学教授) の司会のもと、吉田民人 (日本学術会議副会長 東京大学名誉教授) が開会の辞をのべられました。

講演会は、【第 1 部】と【第 2 部】にわかれ、【第 1 部】では、「ジェンダー問題の多角的検討」と題して、蓮見音彦和洋女子大学特任教授 (第 1 部会員 ジェンダー特委委員長) が、「女性研究者の研究環境の改善」と題して、池内了名古屋大学教授 (第 4 部会員 ジェン

ダー特委幹事) が、「学協会における男女共同参画」と題して、柏木恵子文京学院大学教授 (第 1 部会員 ジェンダー特委委員) が講演しました。柏木恵子氏は、日本学術会議が行った「学協会」に関する調査のジェンダー統計を資料として提出して興味深い報告をされました。

【第 2 部】では、「精神医学とジェンダーの視点」と題して、高橋清久国立精神・神経センター総長 (第 7 部会員 ジェンダー特委委員) が、また「社会政策とジェンダーの視点」と題して、大沢真理東京大学社会科学研究所教授が、まさに社会政策学会が開催中であるなかを抜け出してお講演くださいました。60 名近い参加者があり、ジェンダーを多角的視点からとらえられて非常に有意義であったとの参加者からの感想が多く寄せられました。

5 本の講演を通じて、ジェンダー視点に立った新たな学術の意義と、それを推進する方向に向けてのさまざまな試みと、これまでの到達点と課題が明らかにされました。

JAICOWS 臨時総会と特別講演会のお知らせ

下記の要領で JAICOWS 臨時総会と講演会を開催します。多数の皆様のお集まりをお待ちしています。

JAICOWS 会長 島田淳子

日 時：2003 年 12 月 13 日（土） 11：00～11：30 特別講演
11：30～12：30 総会

場 所：専修大学神田校舎 8B 会議室（一号館 8 階）地図参照

特別講演：アジアと女性研究者 原ひろ子（日本学術会議アジア学術会議専門委員，
放送大学教授）

臨時総会議題：1. 会長・事務局の交代について

2. 会計・その他

（なお、役員の方は、10：00～11：00 まで上記会場で役員会を開催します）

※ 出欠の有無・委任状を同封のはがきで 12 月 11 日までにご返送ください。

会場案内図

水道橋駅（JR）西口より徒歩 7 分

九段下駅（地下鉄／東西線，都営新宿線，半蔵門線）出口 5 より徒歩 3 分

神保町駅（地下鉄／都営三田線，都営新宿線，半蔵門線）出口 A2 より徒歩 3 分

住所 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8



2003 年度女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）予算

2003 年 3 月 31 日

1. 収入の部

勘定科目	予算額	備 考
繰越金	178,185	
会 費	565,200	4,000 円×157 人×0.9
利 子	50	
寄 付	100,000	
その他	10,000	
合 計	853,435	

2. 支出の部

勘定科目	予算額	備 考
通信費	20,000	総会はがき代, 宅配便代, 発送手数料, タックシール代(非会員 117 人分含む)
Newsletter 発行・発送費 (2 回)	170,000	No.11, 12 作成費 No.11, 12 送料(非会員 117 人分含む)
行事費	80,000	
会議費	5,000	
学会業務委託費	420,000	World Planning へ
予備費	158,435	
合 計	853,435	

※ 2002 年度総会で討議され決定した予算を皆様にお知らせしていませんでしたが、以上のとおりです。

連絡先：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）事務局

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7 昭和女子大学女性文化研究所内 担当幹事 伊藤 セツ

Tel : 03-3411-5096 Fax : 03-3411-5264 E-mail : jo-2100@swu.ac.jp

[http : //sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/jaicows/](http://sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/jaicows/)

事務センター：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-2 大橋ビル 株式会社ワールドプランニング

Tel : 03-3431-3715 Fax : 03-3431-3325 E-mail : world@med.emall.ne.jp

郵便振替 口座番号 00100-8-542793

第19期日本学術会議に選出された13名の女性会員を、『学術の動向』第8巻、第9号（No.90）に掲載されたものから転載させていただきました。転載に当たっては、『学術の動向』編集委員長および発行元の日本学術協力財団代表の許可を得ました。

日本学術会議第19期 女性会員

日本学術会議の女性会員の増加については、平成12年6月8日の声明「日本学術会議における男女共同参画の推進について」の中で、「女性会員比率を今後10年間で10%まで高める」という目標を設定し、この実現に向けて、会員候補者の推薦団体である登録学術研究団体への積極的な協力依頼等を行ってきました。第19期においては、第18期の（7名）を大幅に上回る13名の女性会員が誕生しました。ここに、各氏のプロフィールを紹介いたします。

第1部



井上 和子

(いのうえ かずこ)

専門：言語学

関連研究連絡委員会：

語学・文学

勤務先・職名・称号等

神田外語大学名誉教授、大学院言語科学研究センター顧問

最終学歴

昭和39年12月 アメリカ合衆国ミシガン州ミシガン大学

大学院博士課程修了

学位：Ph.D. in Linguistics

職歴

国際基督教大学教養学部講師・助教授・準教授・教授
(昭和38～60年)

津田塾大学学芸学部教授 (昭和60～63年)

神田外語大学外国語学部教授 (昭和63～平成元年)

学長 (平成2～9年)、大学院言語科学研究科教授 (平成9～13年)、大学院言語科学研究センター顧問 (平成13年4月～現在)

研究歴

日本語の普遍性と個別性に関する理論的および実証的研究
言語理論と日本語教育の相互活性化

先端的言語理論の構築とその多角的な実証

所属学術研究団体・役員歴

○日本英語学会 (昭和63～平成2年 副会長/現在 顧問)

○大学英語教育学会評議委員 (昭和49～平成13年)

○日本言語学会 (昭和58～60年 会長/現在 顧問)

○言語学者常置委員会 (昭和62～平成9年 副会長)

日本学術会議会員・委員歴

第1部会員 (第18期)

語学・文学研究連絡委員会委員 (第18期)

審議会等委員歴


文部省学術審議会委員 (昭和53～61年)


日本ユネスコ国内委員会委員 (昭和53～62年)

国語審議会委員 (昭和61～平成2年)

文部省大学審議会委員 (昭和62～平成5年)

文化功労者選考審査会委員 (平成5年)

 <p>江原 由美子 (えはら ゆみこ)</p> <p>専門：社会学 関連研究連絡委員会： 社会学</p> <p>勤務先・職名・称号等 東京都立大学人文学部教授</p> <p>最終学歴 東京大学大学院社会学研究科博士課程中退 学位：博士（社会学）</p> <p>職歴 東京都立大学人文学部助手（昭和54～57年）</p>	<p>お茶の水女子大学選任講師・助教授（昭和57～平成4年） 東京都立大学人文学部助教授・教授（平成4年～現在）</p> <p>研究歴 現象学的社会学の理論研究 「性別カテゴリーと日常生活世界」の実証的・理論的研究 「ジェンダーと社会構造」の実証的・理論的研究</p> <p>所属学術研究団体・役員歴 ○日本社会学会（平成12年～現在 理事） ○関東社会学会（平成10～12年 会長） ○日本女性学会（平成12～14年 幹事）</p>
--	---

 <p>柏木 恵子 (かしわぎ けいこ)</p> <p>専門：心理学 関連研究連絡委員会： 心理学</p> <p>勤務先・職名・称号等 東京都立大学人文学部教授</p>	<p>と家族・個人の発達に関する理論的実証的研究を行っている。</p> <p>所属学術研究団体・役員歴 ○日本発達心理学会（平成11～14年 理事長／現在 理事） ○日本心理学会（平成2～4年 理事／平成13～15年 常任理事） ○日本心理学諸学会連合（平成15年～現在 常任理事） ○日本家族心理学会（平成5年～現在 常任理事）</p>
---	---

3月 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位
中退
教育学博士

大学文理学部講師・助教授・教授（昭和36～平
成2年）

女子大学文学部教授（平成2～14年）
女子大学人間学部教授（平成14年～現在）

学。特に、日米の認知発達に関する比較文化的研
究の性役割獲得に関する研究。最近は、社会変動

○日本性格心理学会（平成10～13年 常任理事）
○国際行動発達学会（平成2～8年 常任理事）

日本学術会議会員・委員歴
第1部会員（第18期）
ジェンダー問題の多角的検討特別委員会委員（第18期）
精神障害者との共生社会特別委員会委員（第18期）
審議会等委員歴
社会教育審議会委員（昭和57～平成2年）
矯正保護審議会委員（昭和58～平成5年）
大学設置審議会委員（平成3～11年）

最終学歴
昭和35年
取得満期
学位：教
職歴
東京女子
成2年）
白百合女
文京学院
研究歴
発達心理
究。青年



袖井 孝子

(そでい たかこ)

専門：社会学

関連研究連絡委員会：

社会学

勤務先・職名・称号等

お茶の水女子大学生活科学部教授

最終学歴

昭和45年3月 東京都立大学社会科学部研究科博士課程修了

学位：社会学修士

職歴

カリフォルニア州公衆衛生局研究員（昭和39～40年）

淑徳短期大学社会福祉学科専任講師（昭和45～47年）

東京都老人総合研究所社会学部主任研究員（昭和47～50年）

お茶の水女子大学家政学部助教授・教授（昭和50～平成4年）、同生活科学部教授（平成4年～現在）

研究歴

老年期における生活適応について、特にジェンダーの視点から解明。具体的には、老年期の家族、住まい、介護問題などに関する実証的研究を行っている。

所属学術研究団体・役員歴

○日本社会学会（平成10～13年 理事）

○日本家族社会学会（平成10～13年 会長）

○日本老年社会学会（昭和63年～現在 理事）

日本学術会議会員・委員歴

第16期 社会学研究連絡委員会委員

審議会等委員歴

人口問題審議会委員、中央社会福祉審議会委員、統計審議会委員、女性と年金に関する検討会座長、教科用図書検定調査審議会委員、男女共同参画推進連絡協議会議長、大学評価・学位授与機構学位審査会専門委員ほか。



長野 ひろ子

(ながの ひろこ)

専門：歴史学

関連研究連絡委員会：

歴史学

勤務先・職名・称号等

中央大学経済学部教授・経済研究所所長

経済学博士

最終学歴

昭和53年3月 東京教育大学大学院文学研究科博士課程単位取得済

学位：経済学博士

学位：経済学博士

職歴

中央大学経済学部助手・専任講師・助教授・教授（昭和54

年～現在）

中央大学経済研究所所長（平成13年～現在）

研究歴

幕藩制国家の経済構造分析

日本近世女性史研究

ジェンダー概念を分析基軸とする日本近世社会経済史研究

所属学術研究団体・役員歴

○総合女性史研究会（平成5～9年 委員）

○地方史研究協議会（昭和57～63年 常任委員）

○歴史学会（平成6～12年 理事）

○社会経済史学会

○歴史学研究会

○日本史研究会

審議会等委員歴

大学評価・学位授与機構大学評価委員会専門委員（平成14年～現在）



本田 和子

(ほんだ ますこ)

専門：幼児教育学・子ども史

関連研究連絡委員会：

教育学

勤務先・職名・称号等

お茶の水女子大学学長

最終学歴

昭和30年3月 お茶の水女子大学家政学部家政学専攻科修了

職歴

十文字学園女子短期大学助教授（昭和41～45年）

お茶の水女子大学家政学部助教授・教授（昭和45～64年）

同学家政学部長（昭和64～平成3年）同学生活科学部教授（平成4～7年）

聖学院大学人文学部教授（平成7～13年）

お茶の水女子大学名誉教授（平成8年～現在）お茶の水女子大学学長（平成13年～現在）

研究歴

「児童研究」の史的検討

近代におけるわが国子ども観の社会・文化史的研究

近代における子ども・若者の生態の文化史的研究

所属学術研究団体・役員歴

○日本保育学会（昭和63～平成12年 常任理事、平成13年～現在 理事）

○日本子ども社会学会（平成11～13年 常任理事、平成14年～現在 理事）

○日本児童文学学会（昭和61～63年 理事）

○国際児童図書評議会・日本児童図書評議会

審議会等委員歴

文部省：教育職員養成審議会委員、大学設置・学校法人審議会委員

厚生省：中央児童福祉審議会

内閣府：青少年の育成に関する懇談会（座長）

男女共同参画社会の将来像検討委員会（座長）

第2部



浅倉 むつ子

(あさくら むつこ)

専門：労働法、ジェンダー法

関連研究連絡委員会：

社会法学

勤務先・職名・称号等

東京都立大学法学部教授

最終学歴

昭和54年3月 東京都立大学大学院社会科学研究科基礎法学専攻博士課程修了

学位：博士（法学）

職歴

東京都立大学法学部助手・講師・助教授・教授（昭和54

年～現在）

研究歴

日米英の雇用平等法の研究

労働法のジェンダー分析

雇用におけるアフターマティブ・アクション法制の比較研究

所属学術研究団体・役員歴

○日本労働法学会（昭和63年～現在 理事）

○日本社会保障法学会（昭和63年～現在 理事）

○日本法社会学会（平成2年～現在 理事）

日本学術会議会員・委員歴

社会法学研究連絡委員会委員（第16、17、18期）

 <p>岩井 宜子 (いらい よしこ)</p> <p>専門：刑事法学 関連研究連絡委員会： 刑事法学</p> <p>勤務先・職名・称号等 専修大学法学部教授</p> <p>最終学歴 昭和39年3月 東京大学法学部第一類卒業</p> <p>職歴 東京大学法学部助手（昭和39～42年） 法務総合研究所研究官補（昭和42～47年） 東京弁護士会弁護士登録（昭和47～57年） 神奈川大学短期大学部助教授（昭和52～57年） 金沢大学法学部助教授・教授（昭和57～平成6年） 専修大学法学部教授（平成6年～現在）</p>	<p>研究歴 犯罪性精神病質者の実態と処遇に関する研究 女性犯罪の実態と処遇に関する研究 児童虐待の実態と対策に関する研究</p> <p>所属学術研究団体・役員歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本犯罪社会学会（平成6～平成13年 常任理事） ○日本刑法学会 ○日本犯罪心理学会 ○日本犯罪学会（平成10年～現在 評議員） ○日本被害者学会（平成10年～現在 理事） ○法と精神医療学会（平成12年～現在 理事） <p>日本学術会議会員・委員歴 第2部会員（第18期） 『学術の動向』専門委員会委員（第18期）</p> <p>審議会等委員歴 法務省検察審議会委員（平成13年～現在） 医療審議会委員（平成13年～現在） 防衛庁人事審議会委員（平成10年～現在）</p>
 <p>辻村 みよ子 (つじむら みよこ)</p> <p>専門：憲法学・比較憲法学・ジェンダー法学 関連研究連絡委員会： 公法学</p> <p>勤務先・職名・称号等 東北大学大学院法学研究科教授</p> <p>最終学歴 昭和53年 一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学</p> <p>学位：法学博士</p> <p>職歴 一橋大学法学部助手・成城大学法学部専任講師・助教授・教授（昭和53～平成11年） 東北大学法学部・同大学院法学研究科教授（平成11年～現在）</p>	<p>研究歴 フランス革命の憲法原理・主権原理の研究 人権の普遍性と歴史性、女性の人権の研究 市民主権と選挙制度・レファレンダムの研究 受賞：1990年（平成2年）第7回渋沢＝クロードル賞受賞</p> <p>所属学術研究団体・役員歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本公法学会（平成7年～現在 理事） ○全国憲法研究会（平成3年～現在 運営委員） ○憲法理論研究会（平成4年～現在 運営委員） ○日本法社会学会（平成13～現在 理事） ○日仏法学会（平成11年～現在 理事） <p>日本学術会議会員・委員歴 公法学研究連絡委員会委員（第18期）</p> <p>審議会等委員歴 法務省人権擁護審議会委員（平成9～11年） 東京都女性問題協議会専門委員（平成10～12年） 法務省司法試験考査委員（平成12年～現在） 大学評価・学位授与機構法学系専門委員（平成13～15年）</p>

第4部



石田 瑞穂

(いしだ みずほ)

専門：地球物理学

関連研究連絡委員会：

地震学

勤務先・職名・称号等

防災科学技術研究所研究主監

最終学歴

昭和49年3月 東京大学大学院理学系研究科地球物理学専攻博士課程修了

学位：理学博士

職歴

明治大学工学部助手（昭和41～43年）

日本学術振興会特別研究員（昭和49年）

国立防災科学技術センター（現防災科学技術研究所）研究官・主任研究官（昭和49～63年）、地震活動研究室長（昭和63～平成8年）、地圏地球科学技術研究部長（平成8～9年）、総括地球科学技術研究官（平成9～13年）、独立行政法人防災科学技術研究所研究主監（平成13年～現在）

研究歴

地震前兆現象に関する研究

関東東海地域のプレート構造に関する研究

リアルタイム地震情報の伝達に関する研究

所属学術研究団体・役員歴

○日本地震学会（平成7～11年 会長）

○（社）日本地震学会（平成12～13年 理事）

日本学術会議会員・委員歴

地震学研究連絡委員会委員（第16期～第18期）



小川 智子

(おがわ ともこ)

専門：分子生物学、分子遺伝学

関連研究連絡委員会：

分子生物学

勤務先・職名・称号等

岩手看護短期大学副学長・教授

最終学歴

昭和35年3月 共立薬科大学

国家公務員：上級（甲）

学位：薬学博士（東京大学：昭和43年）

職歴

国立予防衛生研究所・研究員（昭和35～43年）、大阪大学理学部助手・講師・教授（昭和43～平成7年）、MIT (USA)

リサーチアソシエイト（昭和45～47年）、国立遺伝学研究所教授（平成7～12年）、同企画調整主幹：副所長（平成10～12年）、総合研究大学大学院・生命科学科教授（併任：平成7～12年）・同評議委員（平成11年）、岩手看護短期大学教授・副学長（平成12年～現在）

研究歴

(1) DNA複製中間体を世界で始めて分離し電子顕微鏡写真

で撮影、複製に關与する遺伝子の同定、複製起点、方向性の検出。

(2) 組換え遺伝子RecAとRad51が生物に共通に存在することを発見し、その機能の同定。

(3) 減数分裂期組換えのDNA二重鎖切断で働くMre11蛋白質機能の発見。

所属学術研究団体・役員歴

○日本分子生物学会評議委員、（平成12～14年 会長）

○日本遺伝学会（平成11年度 木原賞受賞）

審議会等委員歴

遺伝学研究連絡委員会委員（平成6～9年）

日本原子力審議会委員（平成11年）

文化功勞者選考審査会委員（平成12年）

科学技術・学術審議会専門員（学術分科会：平成13～15年）

大学評価・授与機構大学評価専門委員（平成13年）、評価委員（平成13～16年）

国立基礎生物学研究所評議員（平成12年～現在）


国立遺伝学研究所運営協議委員（平成8年～現在、会長：平成10～12年）

科学技術事業団個人研究推進領域アドバイザー（平成8～14年）


滝沢村総合計画審議会委員（平成14年～現在）

共立薬科大学評議委員（平成13年～現在）

岩手女子奨学会評議委員（平成13年～現在）

	室伏 きみ子	(むろふし きみこ)	イ・パスツール大学客員教授 (平成12年)
専門： 細胞生物学 関連研究連絡委員会： 細胞生物学、理学振興	研究歴	環状ホスファチジン酸による細胞機能の調節機構 細胞のストレス応答における脂質性メディエーターの働き 細胞のがん化におけるテロメラーゼの活性調節機構	所属学術研究団体・役員歴
勤務先・職名・称号等	○日本細胞生物学会 (平成11年～現在 評議員、平成14年～現在 会計監査)	お茶の水女子大学理学部教授、理学部長、ライフワールド・ウオッチセンター長	○日本脂質生化学会 (平成10年～現在 幹事)
最終学歴	○日本生化学会 (平成13年～現在 関東支部会幹事)	昭和51年3月 東京大学大学院医学系研究科博士課程修了 学位： 医学博士	○New York Academy of Sciences
職歴	○日本分子生物学会	鶴見大学歯学部助手 (昭和51～52年)、ニューヨーク市公衆衛生研究所研究員 (昭和52～54年)、帝京大学医学部助手 (昭和54～58年)、お茶の水女子大学理学部助手・講師・教授 (昭和58年～現在)、理学部長 (平成14年～現在)、ライフワールド・ウオッチセンター長 (平成15年～現在)、ル	○日本癌学会
	○日本癌転移学会		日本学術会議会員・委員歴
	細胞生物学研究連絡委員会委員 (幹事) (第17期～第18期)		審議会等委員歴
	経済産業省独立行政法人評価委員会委員 (平成15年～現在)		

第6部

	江澤 郁子	(えざわ いくこ)	研究歴
専門： 家政学・栄養学 関連研究連絡委員会： 家政学	アミノ酸およびコレステロール代謝に関する研究	勤務先・職名・称号等	カルシウムおよび骨代謝に関する研究
日本女子大学名誉教授・理事	骨粗鬆症の予防に関する研究	最終学歴	所属学術研究団体・役員歴
昭和38年3月、日本女子大学大学院家政学研究科修了	○(社)日本家政学会 (平成4年～理事・副会長・監事、現在 会長)	学位： 医学博士	○日本骨代謝学会評議員 (昭和51年～現在)
職歴	○日本栄養・食糧学会評議員 (昭和59年～現在)	日本女子大学家政学部助手・講師・助教授・教授・大学院家政学研究科教授・大学院人間生活学研究科教授 (昭和40～平成13年)、通信教育課程長 (平成4～7年)、家政学部長 (平成8～11年)、大学院人間生活学研究科・家政学研究科委員長 (平成13年)	○日本ビタミン学会評議員 (平成4年～現在)
日本女子大学名誉教授 (平成14年～現在)	日本学術会議会員・委員歴		審議会等委員歴
	家政学研究連絡委員会委員 (第18期)		文部科学省学校法人運営調査委員 (平成11年～現在)
	審議会等委員歴		文部科学省大学設置・学校法人審議会 (特別委員) (平成13～14年)
	文部科学省学校法人運営調査委員 (平成11年～現在)		文部省学術審議会専門委員 (平成5～7年)
	文部科学省大学設置・学校法人審議会 (特別委員) (平成13～14年)		厚生省公衆衛生審議会委員 (平成11～13年)
	文部省学術審議会専門委員 (平成5～7年)		
	厚生省公衆衛生審議会委員 (平成11～13年)		